

この資料は、平成8年4月中に行政情報センター・統計資料コーナーに到着した主なものです。ご利用ください。

行政情報センター 本庁舎地下1階 TEL 029-221-8111(内線 2238・2239)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央省庁関係		都道府県関係	
学校教育における統計情報の利用実態調査	総務庁	経済白書 平成7年度版	北海道
国民経済計算年報 平成8年版	経済企画庁	農業事業体調査結果報告書 1995年	宮城県
民間企業資金ストック年報 平成2年基準	〃	北海道統計書 平成8年	山形県
民間企業資本ストック 長期遡及推計 平成2年基準	〃	'96みやぎのすがた 宮城県勢要覧	福島県
植生調査報告書(第4回) 全国版	環境庁	みやぎの経済と県民生活 平成7年度版	栃木県
地価公示 平成8年	国土庁	山形県の農業 平成7年	群馬県
国債統計年報 平成6年度	大蔵省	福島県統計年鑑 第110巻	埼玉県
学校基本調査報告書 平成7年度	文部省	学校保健統計調査報告書 平成7年度	東京都
学校保健統計調査報告書 平成7年度	〃	栃木県の人口 平成7年	〃
人口動態統計 平成6年 上巻	厚生省	群馬県移動人口調査結果 平成7年	〃
第1回全国家庭動向調査 1993	〃	学校保健統計調査報告書 平成7年度	〃
都道府県別出生率の分析：1980～1990	〃	埼玉県統計年鑑 平成7年	〃
漁業・養殖業生産統計年報 平成6年	農林水産省	住民基本台帳による東京都の世帯と人口の動き	〃
漁業経済調査報告(漁家の部) 平成6年	〃	東京都行政指標 平成7年	〃
漁業経済調査報告(企業体の部) 平成6年度	〃	東京都結果報告 1995年農業センサス	〃
米及び麦類の生産費 平成6年度	〃	東京都社会指標の研究開発 平成7年度	〃
農業経営と情報利用等について	〃	東京都社会指標 一個別指標― 平成7年度	〃
遊漁船業稼働状況調査報告書	〃	県勢要覧'95(平成7年版)	神奈川県
茨城の作物統計 平成7年	関東農政局	統計グラフでみる新潟県 平成8年版	新潟県
茨城県の生産農業所得統計 平成6年	〃	新潟県の人口移動 平成7年	富山県
関東水産統計地域における漁業動向 平成6年	〃	富山県の人口 平成7年	山梨県
関東の農林漁業経済 平成6年度	〃	県勢ダイジェスト 平成7年度	長野県
茨城県農業の動き	〃	山梨県常住人口調査結果報告 平成7年度	〃
商業統計表 平成6年 業態別統計編(小売業)	通商産業省	山梨県統計年鑑 平成7年刊行	〃
石油等消費構造統計表 平成6年	〃	消費者物価指数年報 平成7年	長野県
運輸経済統計要覧 平成7年版	運輸省	ながの県勢要覧 平成7年版	〃
港湾統計(年報) 平成6年	〃	農業センサス結果報告書 1995年	静岡県
気象年報, 茨城県 平成7年	水戸地方気象台	小規模事業所賃金・労働時間・雇用の状況	岡崎県
		奈良県結果報告書 1995年農業センサス	奈良県
		奈良県統計年鑑 平成7年度	〃
		100の指標からみた奈良県勢 平成8年版	〃
		和歌山県統計年鑑 平成8年刊行	和歌山県
		鳥取県統計年鑑 平成5年	鳥取県
		農業センサス結果報告書 1995年	〃
		学校保健統計調査結果報告書 平成7年度	島根県
		島根県の人口移動 平成6年10月～平成7年9月	〃
		島根県の農業 1995	〃
		広島県の商店街 平成6年	広島県
		山口県勢要覧 平成8年	山口県
		とくしま県勢要覧 1995	徳島県
		徳島県統計書 平成6年	〃
		徳島県の農業 1995年	〃
		学校基本調査報告 平成6年度	香川県
		100の指標からみた香川 平成8年版	〃
		愛媛の農業 1995	愛媛県
		市町村民経済計算報告書 平成5年度	福岡県
		福岡県勢要覧 平成7年版	〃
		福岡県の法人企業 平成6年度	〃
		長崎県社会生活統計指標(平成6年度)	長崎県
		学校基本調査報告書 平成7年度	熊本県
		統計でみる熊本の経済 平成7年度版	〃
		大分県統計年鑑 平成7年版	大分県
		鹿児島県の農業 平成7年2月1日現在	鹿児島県
		人口移動報告年報(平成6年10月～7年9月)	沖縄県
		会社・公社・団体等関係	
		物価指数年報 平成7年	日本銀行
		地方財政要覧 平成7年12月	地方財務協会
		記念録	明るい選挙推進協会
		参議院議員通常選挙の実態 第17回	〃
		地域農業活力図鑑 全国市町村(関東編)	農山漁村文化協会
		地域農業活力図鑑 全国市町村(別巻)	〃
県内市町村関係			
統計こが 平成7年度版	古河市		
常陸太田市総合計画 平成7年度～平成16年度	常陸太田市		
牛久市第1次総合計画 1996～2000	牛久市		
統計うしく 平成7年度	〃		

経 済 動 向

国内の動き

●国鉄清算事業団、債務27兆5800億円に拡大

運輸省・国鉄清算事業団は、旧国鉄から引き継いだ長期債務残高が96年度当初で27兆5800億円になったと発表した。前年に比べ約7000億円増え、過去最高額になった。株式相場の低迷でJR西日本株を上場・売却できなかったのに加え、土地処分も難航。利払い負担を上回る収入を上げられず、残高は2年連続で膨らんだ。事業団は土地とJR株の売却で旧国鉄債務を返済している。95年度中の土地売却収

入は4253億円で、前年度実績は上回ったものの、地価下落と土地取引の冷え込みで大幅な計画割れ。株式売却は2年連続で見送られ、収入不足は約9000億円に達した。売却用地の基盤整備工事の経費節減や金利低下の効果もあったが、利払い負担だけで年間1兆3000億の債務累増要因に対抗しきれず、借金が増えた。（4月2日付 日経）

●公共事業の投資効率低迷

公共事業への投資効率が低迷し、民間設備投資との格差が広がっている。経済企画庁の国民経済計算（95年）によると、製造業などは円高で厳しくなった国際競争に負けないように生産性を向上し投資効率を引き上げたのに対し、公共事業を請け負う建設業では競争原理が働きにくかったため。経企庁は「製造業や流通業は円高で割安になった輸出品に対抗するためリストラを進めたが、公共事業で需要

を確保できた建設業は競争にさらされないため高コスト構造が残った」と指摘している。

政府はバブル崩壊後景気対策として合わせて35兆円規模の公共投資を打ち出したが、建設業の生産性が低迷したまままだと他部門にも波及するはずの公共投資の景気刺激効果が薄れる。（4月29日付 日経）

●消費税率上がるなら…5割が住宅購入前倒し

消費税が来年4月に5%に予定通り引き上げられると、住宅、乗用車、家電製品などで引き上げ前に“かけ込み需要”がかなり発生する可能性が高いことが、日経産業消費研究所の消費者調査で明らかになった。なかでも税率引き上げによる負担増の金額が大きい住宅では、購入希望者の二人に一人が駆け込み購入を考えている。

7つの商品分野ごとに駆け込み購入の希望者の割合を見ると、最も高いのは住宅で46.8%。以下乗用車38.0%、洗濯機などの白物家電36.2%と続き、パソコンなどの情報機器も3割を超えた。来年4月からの税率引き上げが予定通り実施されれば、駆け込み需要が少なくとも一時的に消費を押し上げそうだ。（4月18日付 日経）

調査対象は首都圏に住む成人男女で、住宅、乗用車など

県内の動き

●低金利、自治体財政を直撃

預貯金をめぐる空前の低金利が景気低迷にあえぐ自治体財政に追い打ちをかけている。利払いの減少で、利息にかかる税収が急落しているためだ。96年度は高金利時代に売り出された金融商品が前年度までにおおむね満期を迎えたため、さらに落ち込むのは確実な見通し。バブル崩壊の余波がここに来て、じわじわと市町村の懐を締め付けている。

低金利の直撃を受けているのは、県民税利子割。預貯金

の利子や公社債投信などに一律5%の税率で課せられている。このうち個人納税分の57%は交付金として県内85市町村に分配され、交付額は県民税の納付額に比例する。県のまとめでは91年度に240億5000万だった利子割の税収は96年度132億9500万円まで落ち込むと見込んでおり、最盛期の約半額になる計算だ。（4月1日付 茨城）

●産廃処理の第3セクター設立へ

県は今年度中にも産業廃棄物の処理に当たる第三セクターを設立する。廃棄物の最終処分場は現在、住民の反対などで新規の建設が進まないまま。しかし県内の処分場は今後3年ほどで満杯になるため、県が加わることで住民の理解を得やすくして、処分場の確保に努めることにした。公園を併設するなど、地元メリットがある形を提案、用地

を得る方針。

県内にある処理業者の産廃最終処分場は現在38カ所。廃棄物を埋めることができる容量は残り約150万立方メートルで、埋め立て実績から見て4年弱分しかないという。産廃の量は今後も横ばいか、微増が続くものと見られ、処分場の確保が緊急のテーマとなっている。（4月19日付 日経）

新 人 紹 介



鎌倉を歩く

統計課 人口労働グループ
主事 齊藤 正博

4月から統計課でお世話になることになりました。よろしくお願ひします。

私は、たまに少し遠出をすることがあります。中でも一年に一度は必ず行く鎌倉について書くことにします。鎌倉は日帰りも可能な距離であるので学生時代からたまに遊びに行っていました。遊びに行くといってもこれといって何をやる訳でもありませんが町の中をぶらぶらと歩いてみます。

電車で行くので最初に訪ねる所は鶴岡八幡宮からです。若宮大路を歩き石段を登りお参りすることになります。

次は、江ノ電に乗り長谷観音を見に行きます。長谷寺でも長い階段を登ることになりますが、その頂上から見える由比ヶ浜の見晴らしがとても良くしばらく眺めることにしています。

その次は鎌倉文学館に立ち寄ります。明治から昭和にかけての文豪（川端康成等）ゆかりの物が展示されています。またここは文学館の建物自体や庭も素晴らしいので気に入っています。

私はあまりあちこち見るのではなく気に入った所を落ち着いて見ることにしています。鎌倉は歩きの移動が主なので運動にもなります。まだ、見えていない所も多いので今年も一度は行きたいと考えています。



趣味

統計課 商工農林グループ
主事 滑川 勝俊

新規採用職員として統計課でお世話になることになりました。どうぞよろしくお願ひ致します。

テーマは自由ということなので趣味について書くと思います。新年度になると新しい出会いも増え、よく相手の人達から「ご趣味は何ですか？」という質問をされます。そんなとき、私はいつも答えに困ってしまうのです。私にはこれだといえる趣味がないからです。しかし、聞かれた時に何もありませんと答えるのは嫌なので、その都度自分の趣味について考えるわけです。

無難な答え方としては、スポーツ観戦とか映画鑑賞などがありますが、年に数回行くだけではたして趣味といえるのか疑問です。

スポーツをすることは好きなのですが、何かに秀でてるといってではなく、どれも中途半端で終わっています。今までのスポーツ歴を挙げると、小学校でバスケットボール、中学校でサッカー（足をけがしてほとんど練習はしていない）、高校・大学でテニスというように全く一貫性がありません。

何か自分のマイナス面だけを書いたようになってしまいましたが、サッカーとテニスは現在も続けており、これがもう少し上達したら胸を張って趣味だと言いふらしたいと思っています。

編集後記

みなさん、お気づきになりましたか。今月号から表紙が変わりました。毎月県内の行事やイベントを紹介する予定です。

さて来月の表紙を飾るのは？お楽しみに。

(ON)

統計いばらき 1996/5 No.506

平成8年5月発行

編集兼 茨城県企画部統計課長
発行人 大森基弘
発行所 茨城県企画部統計課
茨城県統計協会
〒310 水戸市三の丸1丁目5番38号
電 話 029-221-8111(内線)2651,2652
029-221-5505(直通)
F A X 029-228-0961
印刷所 富士オフセット印刷株式会社